

# 中山間地域再興ビジョン 令和7年度のバージョンアップのポイント

資料2-1 令和7年1月16日

第2回  
中山間総合対策本部会議

## R15 目標①

若者のうち、減少、流出の著しい34歳以下の人口について、中山間地域のすべての市町村で令和4年よりも増加を目指す

## R15 目標②

出生数について、中山間地域のすべての市町村で令和4年よりも増加を目指す

<単位：人、基準日：10/1時点>

※（）は社会増・均衡となっている市町村数

若者人口(34歳以下)の推移 ※（）は前年比で同水準又は増加した市町村数

	R4	R5	R6
県全体	178,937	174,644	170,045
高知市	94,157	92,032	89,703
高知市以外	84,780 (3)	82,612 (1)	80,342 (1)

出生数の推移 ※（）は前年比で同水準又は増加した市町村数

	R4	R5	R6
県全体	3,738	3,519	3,195
高知市	1,984	1,891	1,694
高知市以外	1,754 (11)	1,628 (12)	1,501 (11)

若者人口の社会増減 ※（）は社会増・均衡となっている市町村数

	R4	R5	R6
県全体	▲1,194	▲1,663	▲2,017
高知市	▲611	▲932	▲1,151
高知市以外	▲583 (11)	▲731 (11)	▲866 (7)

出生数の増加や社会増となっている市町村が一定数存在するものの、県全体では、若者人口及び出生数の減少傾向が続いている状況。早期に若年人口の減少傾向に歯止めをかけていくため、県と市町村の連携協調のもと、取り組みをさらに強化していく必要。

## 《バージョンアップの方向性》

若者の移住・定住の促進に向けた取組の強化や人口減少対策総合交付金を活用した事業の実効性の確保により、市町村と一体となって「若者」を増やす施策を着実に成果につなげるとともに、「暮らし」「活力」「しごと」の各施策の充実を図り、誰もが将来に希望を持って暮らすことのできる中山間地域の実現を目指す。

## 《現状・課題》

### 柱1 若者を増やす

- ・移住者数は増加する見込みであるが、若者の増加に向けてはさらなるUターン者へのアプローチや定住対策の強化が必要
- ・人口減少対策総合交付金を活用した市町村の若者増加策が本格実施される中、バックアップ体制の強化が必要

### 柱2 暮らしを支える

- ・ビジョンにおける若年人口の回復目標を達成した場合でも、総人口の減少は当面避けられない状況である中、地域交通の維持・確保や、地域の医療・介護サービスの体制づくりなど、安心して暮らし続けることのできる環境を維持する取り組みが必要

### 柱3 活力を生む

- ・集落活動センターの新規開設に加え、既存センターの活動の継続・発展のためには、多様な担い手の確保が必要
- ・伝統的な祭りや民俗芸能の継承のため、地域外から参加者を呼び込む仕組みづくりが必要

### 柱4 しごとを生み出す

- ・若者のさらなる増加や定着に向けて、起業に加え、地域のニーズを反映した企業誘致が必要
- ・魅力の発信や働きやすい環境整備等による農林水産業や建設業等への若者や女性の新規就業の促進が必要

## 《強化のポイント》

① 移住促進に加え、定住や転出抑制の取り組みを強化するとともに、交付金事業を市町村と強力に連携して推進  
【新規AP】県内の若者の転職による転出抑制に向けたアプローチ  
【拡充】人口減少対策総合交付金の活用により市町村の取り組みを強力にバックアップ

② 人口減少に適応した、持続可能な暮らしを支える仕組みを強化  
【新規AP】安心安全な周産期医療の提供体制づくり  
【新規AP】中山間地域における事前復興まちづくり計画の策定支援

③ にぎやかな過疎を実現するため、関係人口創出の取り組みを強化  
【新規AP】関係人口と集落活動をつなげる仕組みづくり

④ 中山間地域の強みを活かした新しい仕事の創出や若者・女性が働きやすい環境整備を強化  
【拡充AP】企業誘致戦略（仮称）による企業立地の推進